

自己評価報告書

平成23年5月11日現在

機関番号：13901

研究種目：基盤研究(A)

研究期間：2008～2011

課題番号：20243006

研究課題名(和文)

労働市場、法政策及び労働法の編成原理に関する研究

研究課題名(英文)

Study on the regulatory principles of the labor markets and labor law

研究代表者

和田 肇(WADA, Hajime)

名古屋大学・法学研究科・教授

研究者番号：30158703

研究分野：労働法

科研費の分科・細目：法学・社会法学

キーワード：労働市場、規制緩和、非正規雇用、ディーセントワーク、セーフティネット

1. 研究計画の概要

本研究は、1980年代以降の労働市場や雇用、立法政策あるいは労働法の変化の足跡をフォローし、今後のこれらのあり方について新たな編成原理を探究することを目的としている。

初年度(20年度)は、日本法に関する研究課題の整理と次年度に計画しているヨーロッパ法調査の基礎研究を行う。文献研究が中心となる。全体での研究会を2回、各論テーマ毎での研究の打ち合わせおよび研究成果の公表を適宜行う。

第2年度(21年度)は、ヨーロッパでの現地調査を含む外国法研究と具体的なテーマに即した日本法研究(各論研究)を実施する。後者については、文献研究を中心にしながらヒアリング調査や他の研究分野での知見を提供してもらいながら研究を遂行する。全体での研究会を3回、各グループでの研究の打ち合わせおよび研究成果の公表を適宜行う。

第3年度(22年度)は、前年度の比較法研究のまとめを行う。外国法に研究については、前年度の補充調査とともに、研究成果の公表の一環として外国人研究者を招

聘したシンポジウムを開催する。また、日本法について、前年度と同様に、文献研究を中心としながらヒアリング調査や他の研究分野での知見を提供してもらい研究を行う。全体での研究会を3回、各グループでの研究の打ち合わせおよび研究成果の公表を適宜行う。

最終年度(23年度)には、総論的研究として、日本法の各論研究とヨーロッパ法研究を踏まえた総括的な研究を行う。その成果を紀要その他の雑誌で適宜公表する。全体での研究成果の発表のために合宿を含む研究会を年4回開催する。

2. 研究の進捗状況

(1) 労働市場政策に関する研究については、労働者派遣法に関するものを中心に大きな成果が出ている。とりわけ2008年秋に発生したリーマンショック後に労働市場に大きな変化が生じ、派遣切り等の裁判例が多発した。また、松下PDP事件の最高裁判決2009年に出されたが、その総合的な検討が行われた。

(2) 日本法研究のもう一つの柱である

非正規雇用政策に関する研究も、まだ途上であるとはいえ、既に大きな成果が出た。とりわけ2010年秋の労働法学会で、当研究会メンバーを中心に「雇用平等法の新たな展開」というシンポジウムが開催された。

(3) 比較法研究については、ドイツと韓国との比較法で、シンポジウムを開催することができ、その成果が公表できた。

(4) 労働者利益代表システムについても、まだ研究途上ではあるが、ドイツ法研究を中心に成果が出ている。

3. 現在までの達成度

ほぼ当初の計画通りに進捗しているが、いくつか不十分な点も残している。

<理由>

比較法については、新たにデンマーク研究が追加されたが、EU法研究はまだ十分ではない。非正規雇用の中でも有期雇用政策に関する研究がまだ緒に就いたばかりである。

4. 今後の研究の推進方策

最終年度は、総括的な理論研究を重視したい。個別テーマについては、非正規雇用と平等処遇に関して提言を行いたい。また、比較法研究では、最近重要度が増しており、大きな成果が出始めている韓国法研究、あるいは共同研究に積極的に取り組みたい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 33 件)

<研究代表者のものに限定>

1. 和田肇「デンマークのフレキシキュリティ・システム」戒能通厚ほか編『法創造の比較法』日本評論社 480-485 頁 査読無

(2010 年)

2. 和田肇「労働法におけるソフト・ロー・アプローチについて」戒能通厚ほか編『日本社会と法律学—歴史・現状・展望』日本評論社 723-736 頁 査読無(2009 年)

3. 和田肇「セーフティネットとしての雇用の保護」労働法律旬報 1698 号 6-18 頁 査読無 (2009 年)

4. 和田肇「雇用形態の多様化と労働法政策」法律時報 80 卷 12 号 4-10 頁 査読無 (2008 年)

5. 和田肇「労働法制の変容と憲法理念」法律時報増刊『改憲・改革と法』194-199 頁 査読無 (2008 年)

[学会発表] (計 8 件)

1. 和田肇「今なぜ雇用平等法を問題にするのか」日本労働法学会 2010 年 10 月 17 日
2. 緒方桂子「雇用形態間の均等処遇」同上

[図書] (計 4 件)

1. 西谷敏・根本到編『労働契約と法』旬報社、2011 年(総 341 頁)
2. 唐津博『労働契約と就業規則の法理論』日本評論社、2009 年(総 381)
3. 藤内和公『ドイツの従業員代表制と法』法律文化社、2008 年(総 482 頁)
4. 和田肇『人権保障と労働法』日本評論社、2008 年(総 302 頁)

[その他]

ホームページ

<http://www.law.nagoya-u.ac.jp/~wada/>